



▲傘福展示のオープニングイベントの様子

休みにラン  
チミーテイ  
ングを提  
案。「普段な  
かなか話せ  
ない職員  
の話が聞けて

「ずっと副市長室にいと職員  
顔が見えないんです」という矢口  
副市長は職員と交流するため、昼  
会いはありがたいですね」と笑顔  
をのぞかせます。

「酒田に住んで15年経ちますが、  
副市長になったことで初めて出会  
える人たちがいます。こうした出  
会いはありがたいですね」と笑顔  
をのぞかせます。

大学教授から副市長へ



さかたの風 かげ 今月の人

Yaguchi Akiko  
矢口 明子 さん(中町三丁目)  
酒田市副市長

「市民の皆さんとの出会いも大切  
にしたいと思っています。一人一人  
個性の違う市民が、自分らしく生き  
られる社会が夢なので、いろんな声  
をぜひ聴かせてください。私が聞い  
た皆さんの声を職員に伝えていきま  
す」と市民が参加し、起点となるま  
づくりを市長と共に進めるようとす  
る矢口副市長の笑顔から、朗らかな  
春の暖かい風が感じられました。

「すぐに3月議会があり、ちよ  
うどいい時期でした。本会議で市の政策  
の答弁をすることで、理解を深める  
ことができました。今年度行う事業  
を数字の面だけではなく、市民の皆  
さんに実感してもらえようようにし  
たいですね」とこれから始まる1年  
に向けて思いを語ります。

新年度に向けて

「就任直後はいろいろ不安もありま  
したが、職員が全力で支えてくれま  
す。とてもありがたいと思っています」  
とてもいい機会になりました」と振  
り返ります。初回は女性職員を対象  
に開催したこのミーティングですが、  
今後は男性職員や市役所本庁舎以外  
の職場でも行いたいそうです。

旬の食材を使った料理を酒田市食生活改善推進員が紹介します

## 酒田の旬 24

### アスパラガスの和風サラダ

グリーンアスパラガスには、疲労回復に役立つといわれているアスパラギン酸の他にも、βカロテン、ビタミンB1、B2、葉酸などの栄養素が含まれます。新鮮な地物が店頭と並ぶこの時期にお試しください。



**【材料】(4人分)**

アスパラガス.....100g <sup>2</sup> (1束)	A	酢..... 大さじ1
キュウリ.....100g <sup>2</sup> (1本)		しょうゆ..... 大さじ1
ニンジン.....70g <sup>2</sup> (1/2本)		サラダ油..... 小さじ2
		かつお節..... 2g <sup>2</sup>

**【作り方】**

- ①アスパラガスは根元の部分を切り落とし、3センチ位の長さに切る。茹でてから冷水で冷まし、水気を切る。
- ②ニンジンは3センチ位の長さの太めの千切りにする。茹でてから冷水で冷まし、水気を切る。
- ③キュウリは縦半分に切り、斜めにスライスする。
- ④Aを混ぜてドレッシングを作り、①～③の材料と和えて器に盛ったら、かつお節をのせる。

**ワンポイント** 食生活改善推進員からの  
すぐ食べてもおいしいですが、少しおいて  
味を馴染ませるとさらにおいしくなります。

## 東北公益文科大学

# キャンパスレポート 48


### 主将を経験して

石黒 大樹(4年)

私たち東北公益文科大学硬式野球部は、横田謙人監督のもと南東北リーグ優勝、全国大会出場を目標に日々練習に励んでいます。

私が主将として一番意識していることは、組織全体に目を向けるということです。チームをまとめる立場として、1人の選手や自分のことだけにしないよう、全体に気を配っています。慣れないことばかりで、最初は上手いかず悔しい思いもりましたが、副キャプテンや周りのサポートもあり、少しずつ全体をまとめられるようになりました。

主将という貴重な経験を通し、リーダーシップや視野の広さを身につけることができました。野球部として結果を出すのはもちろんですが、社会人としても結果を出せるように、これからも努力していきたいと思っています。



▲チーム一丸で再び頂点へ

園東北公益文科大学広報担当 ☎41-1117

## おしごと拝見

vol. 36

市内企業の優れた技術力や製品、サービスを紹介します。



本社工場



縫製ライン一班 副班長  
松田 久美子さん

最新トレンドのファッションを酒田で作っています

### 四季のアイテムを一貫生産

テレビや雑誌で取り上げられる有名ブランドの新作ファッション。当社では、そんなデザイン性の高いレディース製品を製造しています。

洋服作りは、まず1枚のサンプルを作った後、袖や体部分、襟などの型紙を作るところから始めます。次に型紙に合わせて生地を裁断し、シルエットの維持や補強のための芯地を貼り各パーツを縫い合わせます。洋服の形になったらボタンなどを取り付け、仕上げのアイロンを掛けて完成です。その後破損などがなければ人の目で厳しくチェックし、百貨店や専門店へ納品します。

### 人の手による繊細な作業

当社は社員の9割以上が女性です。私が所属するラインでは、コートやジャケット、ワンピースなどの組み立てを担当しています。素材の厚さや硬さによって何台かのミシンを使い分け、細かく調整を行っています。生地が薄いものは傷が付きやすいため細心の注意が必要ですし、立体的に縫製する肩の部分などは、繊細な技術が求められます。

製品を作りながら、最先端のファッションに触れることができるのも、この仕事の魅力の一つです。

#### 【企業の概要】

沿革 昭和61年東両羽町にて創業、昭和62年現商号となる、同年現地に移転。平成3年子会社(株)アーバンデリバリー設立。

商号 株式会社アーバンルック

資本金 4,000万円

住所 酒田市東町一丁目18-3 ☎26-0066

代表者 代表取締役社長 高橋 英樹

従業員数 135人

事業内容 百貨店・専門店向けレディースファッションの製造

ホームページ <http://www.urbanlook.co.jp/>



縫製工程



作業風景

ジャケットの袖付けをしています。身頃(胴体部分)と袖を合わせ、立体的に縫製していきます。

工場のメインフロアです。音楽が流れ、リラックスして作業できる環境になっています。

## 大切な人へ

伝えたかった想いをここに…

1

思春期の子もたちや子どもを思う親たちとの出会いの中で、大切な想いをお預かりしています。そんな想いを聞いてください。今回は「子離れ」です。

「明日の朝は一人で起きれる？ おかず作っておいたからね」「コンビニと外食だけじゃだめよ。お金、足りないときは言ってみてね。計画的に使うのよ。連絡はまめに頂戴。掃除もまめに、洗濯物はためないで…お母さんは、そばにいないんだからね」  
甘えん坊で、泣き虫で、一人では何もできなくて、手伝え「ゴメン！」とちゃっかり笑っていた娘。夢を叶えるために選んだ都会での暮らし。新生活が心配で母親も一緒に上京。あれもこれも揃えた生活用品。  
「戸締りはしっかりしてよ。鍵を置く所はここね」そう言った次の瞬間、目に涙をいっぱいためて娘は立ち上がった。  
「いいかげんにして！もう、ほっといて！」口うるさい母親に娘が背を向けた。悲しげだった。18歳の娘の巣立ち…。こんな形で離れるつもりはなかったの

に…。酒田に帰る電車の時間が近づいていた。「そう」カチンときた母親は娘の顔も見ず、手も握らず部屋を出て泣きながら帰ってきたんです。

酒田に戻り、私の前で母親は泣きました。離れた娘を思いながらハラハラと涙を流し、子離れできないのは自分自身だったと悟りました。一緒にいる間に一人でも生活できるようにしてあげることが大切だったので。「あなたなら大丈夫。行ったらっしやい！」咲き始めた桜と一緒に見上げ、言ってあげたかった…。と母親は泣きました。我が子を信じ、笑顔で巣立ちを喜べる、そんな親になりたいものです。  
(ご安心ください。この親子、ちゃんと仲直りできましたから…18年間の愛情は伝わっていたのですね)

酒田市立八幡病院  
助産師・  
思春期保健相談士  
後藤 敬子 先生